


インバータを更新いただくお客様へ

TOSVERT™ VF-SX, SXN  TOSVERT™ VF-S15

TOSVERT VF-SX, VF-SXN は、製造およびすべての保守サービスを終了させていただいております。
このパンフレットでは、標準的なご使用方法の VF-SX, VF-SXN を、後継機種 VF-S15 へ更新いただく際の配線および設定に関する情報を掲載しております。
詳細な資料につきましては、東芝シュネデール・インバータ(株)ホームページ (<http://www.inverter.co.jp/>) の会員サービス(登録無料:登録まで2営業日かかります)に、製品添付の取扱説明書および置換えマニュアルを準備しておりますので、ご確認ください。

VF-SX, VF-SXN から VF-S15 への置換えについて

VF-SX, VF-SXN から VF-S15 へ更新を行う場合、以下の手順で据付け・配線・パラメータ設定を行ってください。

- 1. VF-SX, SXN の使用方法のご確認
- 2. VF-S15 の据付け
- 3. 電源・モータの配線
- 4. 制御信号の配線
- 5. パラメータ設定

【推奨】

VF-SX, VF-SXN に電源投入ができ、設定内容の読出しが可能であれば、パラメータ設定内容の読出し・記録を行ってください。



(VF-SX / VF-SXN)

(VF-S15)

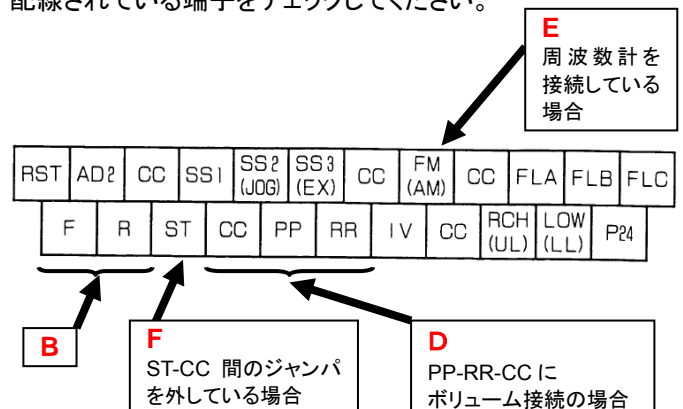
1. TOSVERT VF-SX, VF-SXN の使用方法のご確認

TOSVERT VF-SX, VF-SXN の使用方法をご確認ください。

- 運転停止方法の確認
 - A. 操作パネルの RUN, STOP キーで運転・停止
 - B. 外部信号により運転・停止
- 周波数設定方法の確認
 - C. Δ ∇ キーにより周波数設定
 - D. 外部ボリュームにより周波数設定

注：
各記号(A~F)は、5項のパラメータ設定時の記号です。

- 制御回路端子台への配線の確認
以下は、VF-SX, VF-SXN の制御回路端子台です。
配線されている端子をチェックしてください。



【ご注意ください】

定格銘板(インバータ右側面に貼付)のインバータ形式末尾に「Y-A□□(□:数字)と記載のあるインバータは、特殊仕様品です。インバータが取り付けられている機械の製造メーカーまたは機械の購入元(販売店)に、インバータ更新のご依頼をお願いします。

形式例: VFSXN-2037P1Y-A99

2. 据付け 3. 電源・モータの配線 4. 制御信号の配線

インバータを据付け後、電源・モータの配線を行ってください。
※必ず、電源が遮断されていることを確認してください。

■電源・モータ配線

	VF-SX, VF-SXN		VF-S15
電源	R/L1	⇒	R/L1
	S/L2	⇒	S/L2
	T/L3	⇒	T/L3
モータ	U/T1	⇒	U/T1
	V/T2	⇒	V/T2
	W/T3	⇒	W/T3

■制御信号の配線

VF-SX, VF-SXN に配線されている信号線を、VF-S15 に接続します。
以下については、端子名称が異なります。

VF-SX VF-SXN		VF-S15	備考
RST	⇒	RES	
IV	⇒	VIA or VIC	(*)
AD2, SS1~3	⇒	S1~3	(*)
LOW	⇒	RY, RC	(*)
RCH	⇒	OUT	NO-CC を短絡してください

(*): 取扱説明書、置換えマニュアルを参照してください。

5. パラメータ設定

A. 操作パネルの RUN, STOP キーで運転・停止
パラメータ設定は不要です。

B. 外部信号により運転停止

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
	FN0d	時計回りに6つ目です
	1	
	0	
	FN0d	FN0d⇔0 の交互表示後、自動的に FN0d 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です

C. △▽キーにより周波数設定

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

D を参考に FN0d に 3 を設定のうえ、下記を設定してください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
	60.0	運転周波数を設定します。 例: 60Hz の周波数設定 (60.0 になるまで、設定ダイヤルを回してください。)
	0.0	FC⇔60.0 の交互表示後、自動的に 0.0 表示になります

F. ST-CC 間のジャンパを外している場合

VF-SX, VF-SXN の ST 端子に接続された配線を、VF-S15 の S3 端子に接続後、以下の手順でパラメータ設定を行ってください。

操作	表示	(続き)	(続き)
	0.0		6
MODE	AUH		0
	F1--		F110
	F100		F116
	F110		14
		MODE	OFF

D. 外部ボリュームにより周波数設定

ボリュームを PP-VIA-CC 端子に接続後、以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
	FN0d	時計回りに7つ目です
	0	
	1	
	FN0d	FN0d⇔1 の交互表示後、自動的に FN0d 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です

E. 周波数計を接続している場合

周波数計を FM-CC 端子に接続後、以下手順で周波数計の校正を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
	60.0	例: 60Hz で運転
MODE	AUH	
	FN	時計回りに9つ目です
	60.0	
	60.0	設定ダイヤルによりメータを調整します。 この時メータの指示は変わりますが、インバータのデジタルLED(モニタ)表示は変わりませんので、ご注意ください。
または 		
	FN	FN⇔60.0 の交互表示後、自動的に FN 表示になります
MODE 2回	0.0	校正完了です

